

都留市

わが家の

防災マニュアル

保存版



この冊子について

このマニュアルは、各家庭で情報を書き込み、より充実させていただくものです。綴じ紐やファイルにとじ、災害時にすぐに確認できるよう、わかりやすい場所に用意しましょう。また、日頃から内容を見直し、防災訓練の際に持ち寄るなど、家庭や地域での防災の備えの確認の際に活用してください。マニュアルにある内容の他に自分に必要な情報を合わせて綴っておくこともお勧めします。

風水害

地震

富士山噴火

いざという時のために

ハザードマップ

わたしの避難計画

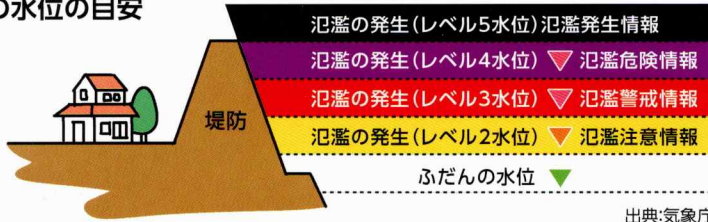
風水害に備える

台風等による大雨や風

河川の氾濫

大雨など急な増水により、河川の水が堤防からあふれたり、堤防が決壊して氾濫（外水氾濫）が発生すると、内水氾濫に比べ甚大な被害が広域に及ぶ危険があります。国管理河川は気象庁と国土交通省が、都道府県管理河川は気象庁と都道府県が、河川の水位に応じて洪水予報を発表していますので、確認しましょう。

河川の水位の目安



※内水氾濫とは、排水機能が追いつかず、処理しきれない雨水で浸水すること。

土砂災害

土砂災害は、突発的に発生し、すさまじい破壊力で一瞬にして生命や財産を奪ってしまいます。土砂災害の発生を予測するのは難しいものですが、前兆現象が見られる場合があります。身近に土砂災害の危険箇所があり、次のような現象を確認した場合は、早めに避難しましょう。

土石流

長雨や集中豪雨などで、山腹や谷川の石や土砂が一気に下流へ押し流されます。勢いが強く、圧倒的なスピードで、進行方向にあるものを次々と飲み込み、壊していきます。



こんな前兆現象に注意!

- 山鳴りがする。
- 雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。
- 川の水がにごったり、流木がまざったりする。
- 腐った土の匂いがする。

がけ崩れ・山崩れ

雨水が染み込んで、柔らかくなった斜面が急に崩れ落ちます。日本で最も多い土砂災害で、人の住む家の近くでも突然起きるため、逃げ遅れて犠牲となる人も多い災害です。

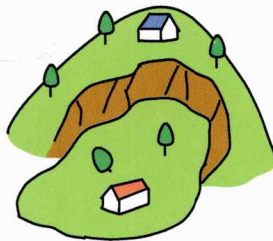


こんな前兆現象に注意!

- 崖から濁った水がでる。
- 地下水やわき水が止まる。
- 斜面のひび割れ、変形がある。
- 小石が落ちてくる。
- 崖から音がる。
- 異様な臭いがする。

地すべり

地盤が弱い土地に豪雨が降り、ゆるくなった斜面の一部が、地下水の影響と重力で下へ移動する現象です。ひとたび発生すると、家や道路、鉄道など広い範囲に被害を与えます。



こんな前兆現象に注意!

- 地面にひび割れができる。
- 井戸や沢の水が濁る。
- 崖や斜面から水がふき出す。
- 家や壁などに亀裂が入る。
- 家や壁など、樹木、電柱が傾く。

～命を守るための地図「ハザードマップ」を見よう～

その場所の災害リスクを確認できるのが、「ハザードマップ」です。マップは、災害の種類別に用意されていて、それぞれの災害の危険区域や避難所等の情報がまとめられています。p14～p17の土砂災害・浸水害のハザードマップを参考に、避難の必要性や避難経路をあらかじめ考えましょう。

あらかじめ大雨での避難について考えよう

雨が強くなってから避難しようとしても、避難先や方法、持ち出し袋等の準備に時間がかかり、避難が間に合わなくなる可能性があります。短時間のうちに激しい雨が降り続き、災害が発生するケースが増えています。日頃から、避難について考え、家族とも共有しておきましょう。

家族で確認した内容は、p18の「私の避難計画」にも記入し、常に確認や見直しができるようにしておきましょう。

■ここにはどんな危険がありますか？

あなたのいる場所は、土砂災害や浸水の心配はありませんか？ハザードマップ等も確認し、安心して滞在できる場所か確認しておきましょう。



■避難が必要!どこに避難しますか？

市指定の避難所だけでなく、身近な親族宅や友人宅、宿泊施設など、さまざまな選択肢があります。あらかじめ相談しておきましょう。

避難先までの道の安全も確認を!

自分の滞在する場所や避難先の安全確認はもちろん、避難先までの道にも危険個所がないか確認しておきましょう。

■いつ、避難を開始しますか？

人により、避難に必要な時間も違います。逃げ遅れることのないよう、早めに避難しましょう。判断の際は、市から発令する避難情報も参考にしてください。

家族や友人との連絡手段の確認を!

避難前や避難後など、自分の安否を家族等に伝えましょう。また、電話が繋がらなくなる事態も想定し、p12にある連絡手段も使用できるよう、家族や知人に伝えておきましょう。

市から発令する避難情報とは？

次のページで、市からどのような避難情報が発令されるかを確認しておきましょう。

■避難する際、何が必要ですか？

避難先で生活するためには、食料や着替え、衛生用品など、様々なものが必要になります。p13も見ながら、自分にとって避難生活に必要なものを選び、あらかじめ準備しておきましょう。

市の避難所に避難する場合も食料など持出袋の用意を

市の避難所では、避難所開設期間が短い場合に、飲食物を配布しません。必要なものは、各自が事前に用意して、持参しましょう。

台風や大雨時は、事態が悪化する前に早めの避難!

～そのために情報を得よう～

大雨や台風などの情報は、事前に様々な方法で入手できます。

テレビやラジオからの「気象情報」や、市からの「避難情報」に注意を払い、災害の危険が迫ったら早めに避難しましょう。

3日前～

台風や大雨の予報を確認しよう

日々の天気予報をはじめ、気象に関する情報を収集することが重要です。早めに情報を入手し、備えを始めましょう。

雨の降り始め～

強い雨 危険度を確認しよう

災害の危険が高まると、気象台から『気象情報』が発表されます。さらに詳細な情報は、気象庁の「キキクル」などで確認できます。今いる場所の危険度を見て、避難に備えましょう。

警報発表～

災害発生の恐れ 市の避難情報にも注意

土砂災害や浸水害の危険が高まっています。今後の雨の状況や災害発生の危険度により、市から『避難情報』を発令します。

『気象情報』はいつ出るの?

注意報

大雨などにより災害発生の恐れがある時

警報

大雨などにより重大な災害が発生する恐れがある時

土砂災害警戒情報

大雨警報(土砂災害)が発表され、さらに土砂災害の危険度が高まっている時

特別警報

数十年に一度の大雨や、浸水・土砂災害など重大な災害が発生する恐れが非常に高まっている時

テレビやラジオ

ニュースの気象情報の他、発表時には字幕等でお知らせしています。

気象アプリ

いろいろな会社が提供するスマートフォンアプリでも、確認できます。

インターネット

気象庁のホームページやキキクル(気象庁提供)で、確認できます。

市からの『避難情報』とは?

高齢者等避難

危険な場所に住んでいる場合、すぐに避難できるよう準備。高齢者など避難に必要な方は、避難開始。

避難指示

危険な場所に住んでいる場合、速やかに避難を開始。外出が危険な場合は、自宅内などで各災害から安全を確保できる場所へ避難。

防災無線

市内各所の防災無線子局から音声放送。

都留市 お知らせメール (防災つるメール)

防災無線放送と同時に、同内容を配信。右のコードから登録ページにアクセスし、配信登録しましょう。



都留市の ホームページ

防災無線放送と同時に、同内容を公開。右のコードからアクセスできます。



都留市CATVの L字放送

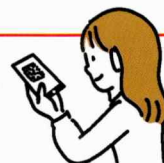
無線放送内容をCATV(11CH)にて画面表示。

電話応答 サービス

☎0554-23-6066
24時間以内の防災無線放送を確認可能。

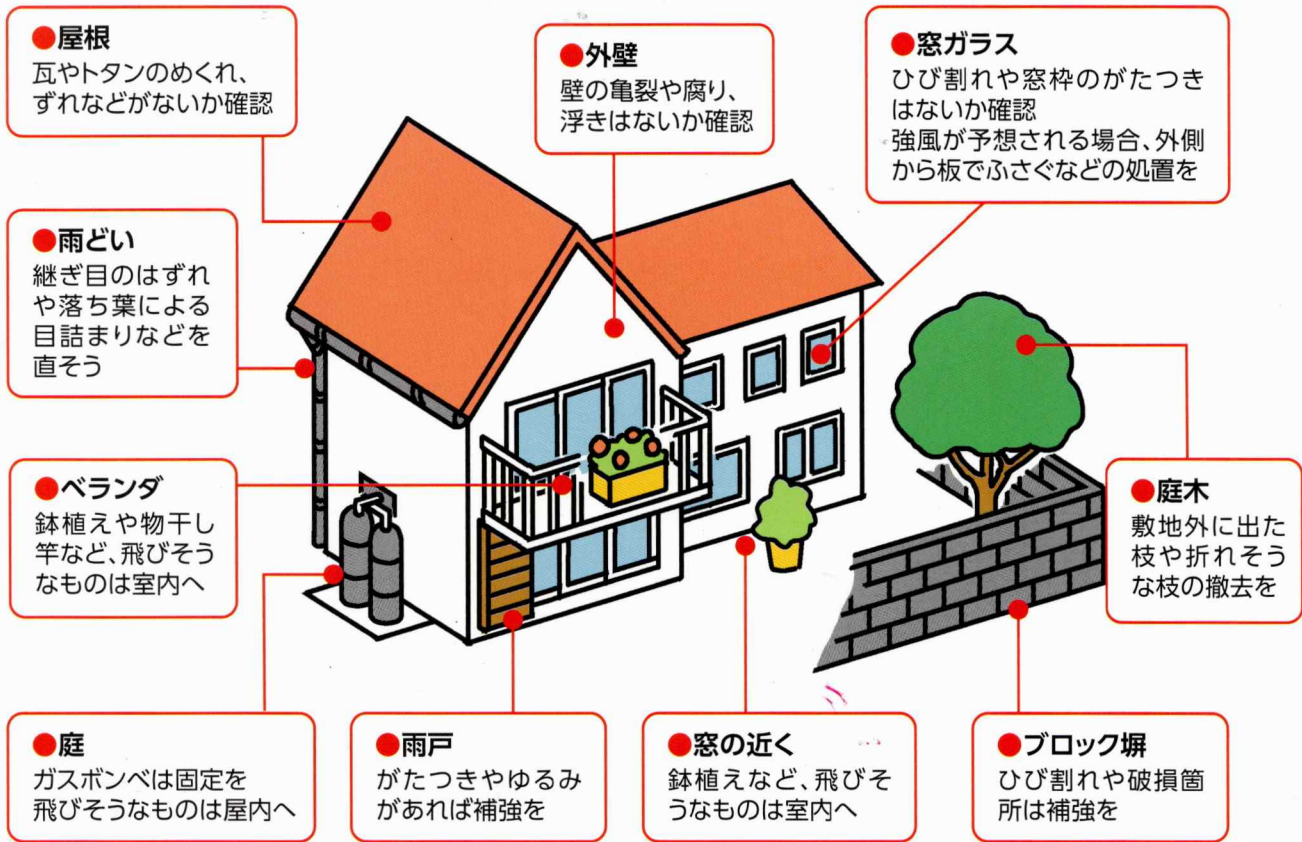
都留市防災SNS

災害時における注意喚起、避難情報、避難所開設のお知らせはツイッターやLINEでも発信します。二次元コードよりフォロー・お友達登録をお願いします。



風雨が強くなる前に～自宅での風水害対策～

～被害を生んだり、拡大させないように、風雨が強まる前に対策を！～



大雨・台風等による浸水や土砂災害の危険から身を守る

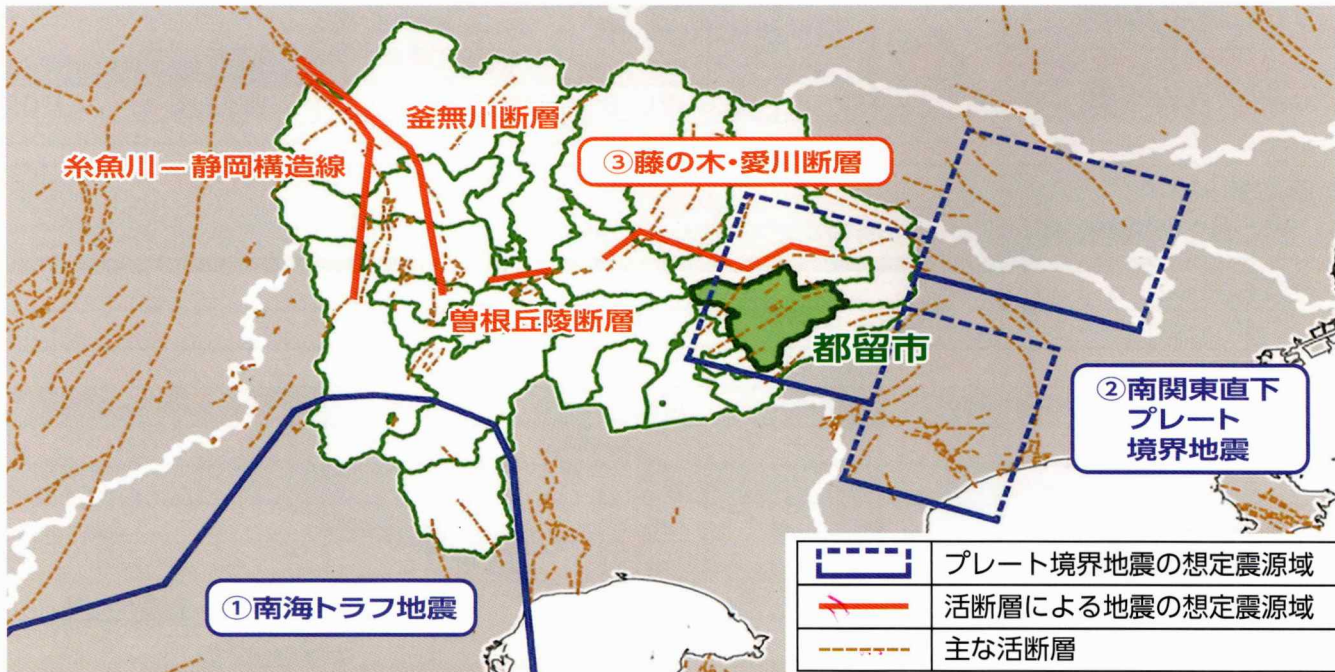
避難時の安全を確保しよう！

- ① 動きやすく安全な服装で**
ヘルメットで頭を保護し、靴はひもで締められる運動靴にする。裸足や長靴は厳禁。
- ② 足元に注意**
道路が冠水すると、足元が見えにくくなり、側溝やマンホールに気づきにくくなる。長い棒などを杖代わりにして歩くと安全。
- ③ 単独行動はしない**
避難が必要な状況になったときは、隣近所や仲間と声を掛け合い、避難行動を。2人以上で避難を。
- ④ 深さに注意**
水深が膝よりも高いところでは歩行が難しく、水の流れの速いところでは10～20センチ程度で危険。
- ⑤ 要配慮者に配慮を**
高齢者や傷病者は背負い、子どもは抱えるか浮き輪などを使用し、安全を確保。
- ⑥ 危険な場所は避ける**
河川の水位が急上昇する恐れがあるので、河川や用水路の近くはできる限り避ける。濁った水が出ていたり、小石の落下、ひび割れなどがある崖には近づかない。

地震発生!どんな危険が?

日本は、4つのプレート(岩盤)が折り重なる場所に位置しており、地震が多い国です。

都留市でも、南海トラフ地震や南関東直下のプレート境界地震、藤の木・愛川断層帯での地震など、震度5弱～6強程度の揺れを観測する地震が想定されています。



大きな地震発生。屋外では?

建物や建造物が揺れにより破損し、その一部が落下・転倒する恐れがあります。危険な場所から距離をとり、姿勢を低くして頭などを守りましょう。



地震発生時、屋外ではこんなところに注意

工学院大の久田嘉章教授(地震工学)らによる

地震の揺れはどのくらい?

	震度 0	人は揺れを感じない。
	震度 1	屋内にいる人の一部が、わずかな揺れを感じる。
	震度 2	屋内にいる人の多くが揺れを感じる。眠っている人の一部が目覚めます。
	震度 3	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。恐怖感を覚える人もいます。
	震度 4	かなりの恐怖感があり、一部の人は、身の安全を図ろうとする。眠っている人のほとんどが目覚めます。
	震度 5弱	多くの人が身の安全を図ろうとする。一部の人は行動に支障を感じる。
	震度 5強	非常に恐怖を感じる。行動に支障を感じる。
	震度 6弱	立っていることが困難になる。
	震度 6強	立っていることができず、這わないと動くことができない。
	震度 7	揺れに翻弄され、自分の意志で行動できない。

出典:気象庁震度階級関連解説表

家の中の防災・減災対策

●照明器具
吊るすタイプの照明器具は、ロープで固定する。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで留めておく。

●住宅用火災警報器
煙や熱を感知すると警報音で知らせてくれる。10年に一度、交換する。

●ガスレンジ
自動停止装置がついているガスメーター(マイコンメーター)かどうかを確認する。

●カーテン
防災加工されたものを使う。

●窓ガラス
飛散防止フィルムを室内側に貼る。

●冷蔵庫
動かないよう固定する。

●食器棚
飛散フィルムをガラスに貼る。扉が開かないよう金具をつけて、扉が開いても中の食器が飛び出すのを防ぐ。

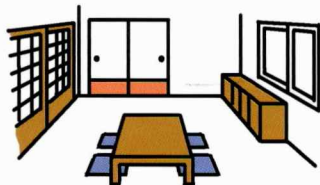
●本棚・タンスなど
なるべく壁面に接近させておき、上部をL字型金具で固定するか、家具の下に板などをはさみ、壁面にもたれさせる。二段重ねの場合は、つなぎ目を金具で連結する。

●テレビ
できるだけ低い位置に置き、金具やロープ、装着マットなどで下面・柱・壁に固定する。

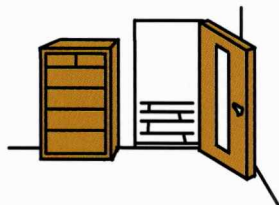
●テレビ台など
キャスター付きの家具はなるべく避け、使うときは、ストッパーをかける。

家の中の事故はこんな工夫でも防げます

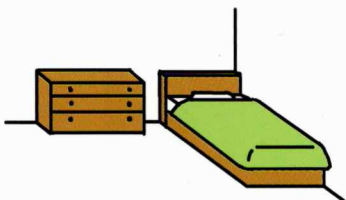
家族が家具の転倒や落下を避けて集まることができる、家具のない(または少ない)安全なスペースを確保する。



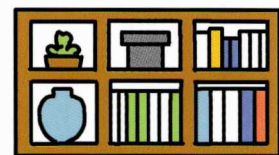
出入り口や通路をふさぐような場所に物を置かない。家具が倒れたときに備えて向きも考慮する。



就寝中に倒れた家具の下敷きにならないよう、寝室には大きな家具を置かない。

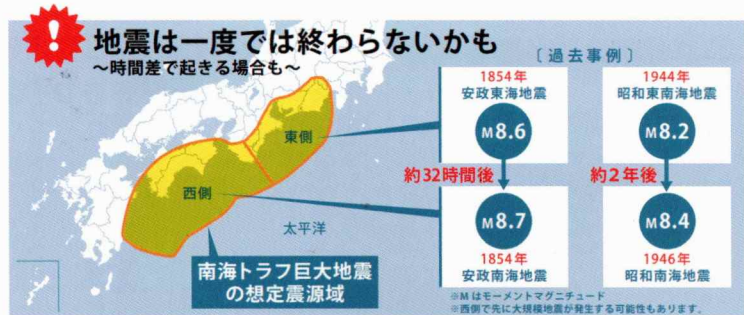


重心を安定させるため、重い物は下に、軽いものは上に収納する。



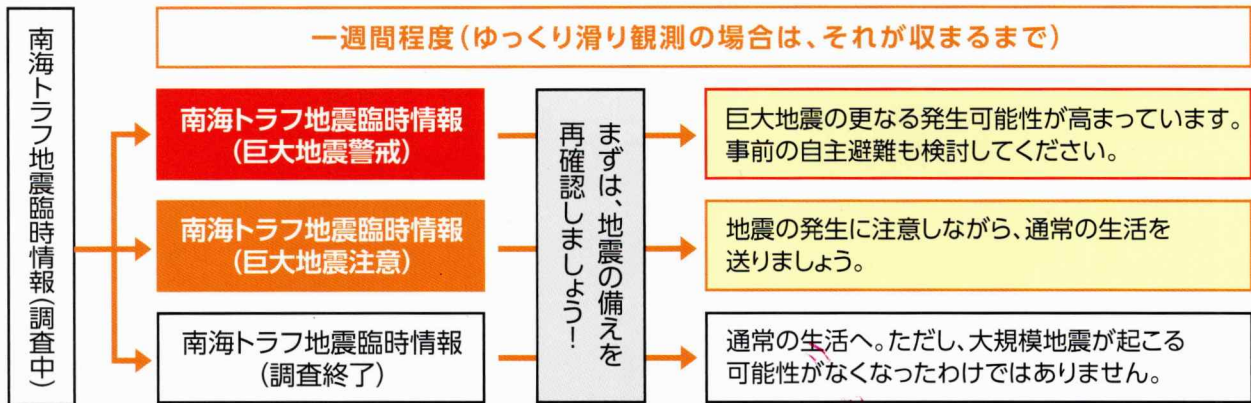
備えよう、南海トラフ地震

南海トラフ地震は、駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源域として、過去に大きな被害をもたらしてきた大規模地震です。この場所で大きな地震が発生すると、ほかの場所でも連動して大地震が発生する可能性があります。



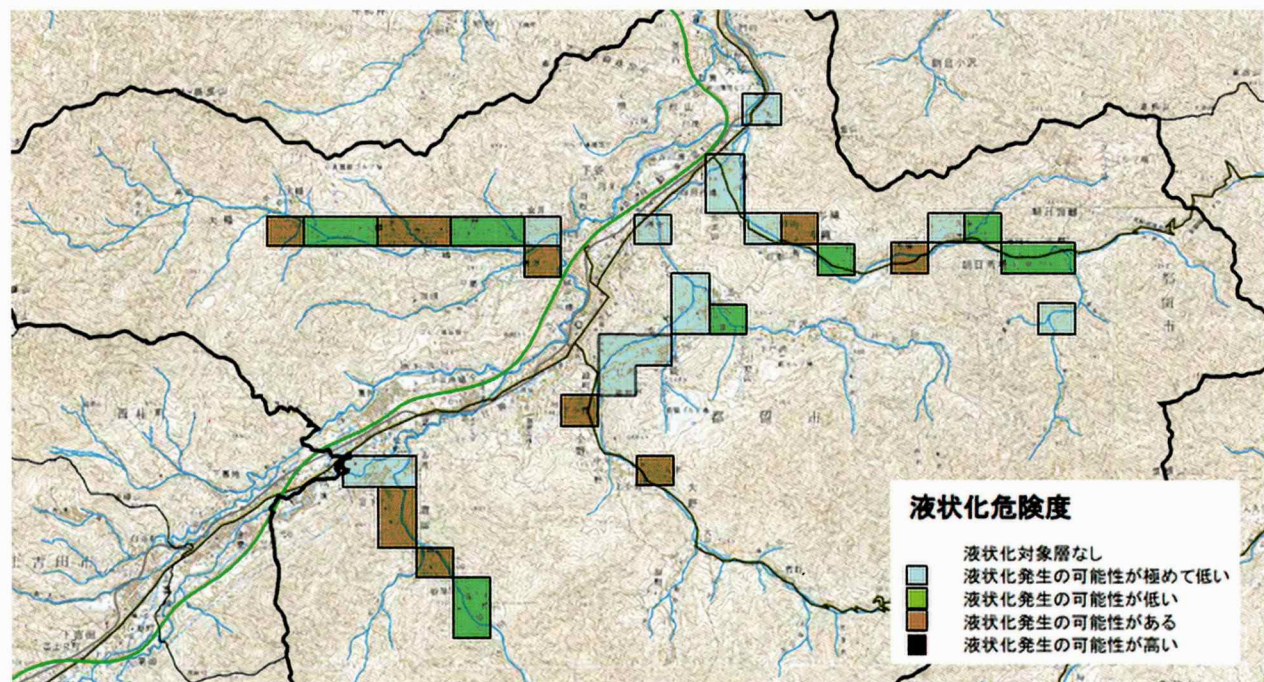
画像：内閣府

南海トラフ地震臨時情報が発表されたら？



地震で発生! 液状化に注意しよう

液状化現象は、地震による振動で地盤が揺さぶられて、地面の一部が液体の状態に変化することです。地下水などの水分が多く、砂の多い地盤で発生する可能性が高くなります。



もし、地震が発生したら

地震発生時はパニックになります。そのような状況でも身の安全を確保できるように、地震発生時の行動を覚えておきましょう。

地震が起きたその瞬間は？

まずは自分の身を守りましょう

丈夫な机の下などに入って机の足をつかみ、頭を守りましょう。机などがなければ、転倒しないように姿勢を低くし、クッションやカバンなどで頭を守りましょう。

また、緊急地震速報により揺れが始まる前に地震の情報を得た場合は、倒れそうな家具やガラスなどから離れてから、安全確保の態勢をとりましょう。

緊急地震速報

最大震度5弱以上が推定される場合、テレビやラジオなどを通じて発表されます。揺れが予想されるまでの間、自分の身を守ることを優先して行動しましょう。
※震源に近い場合、速報が間に合わないことがあります。

揺れが収まったら

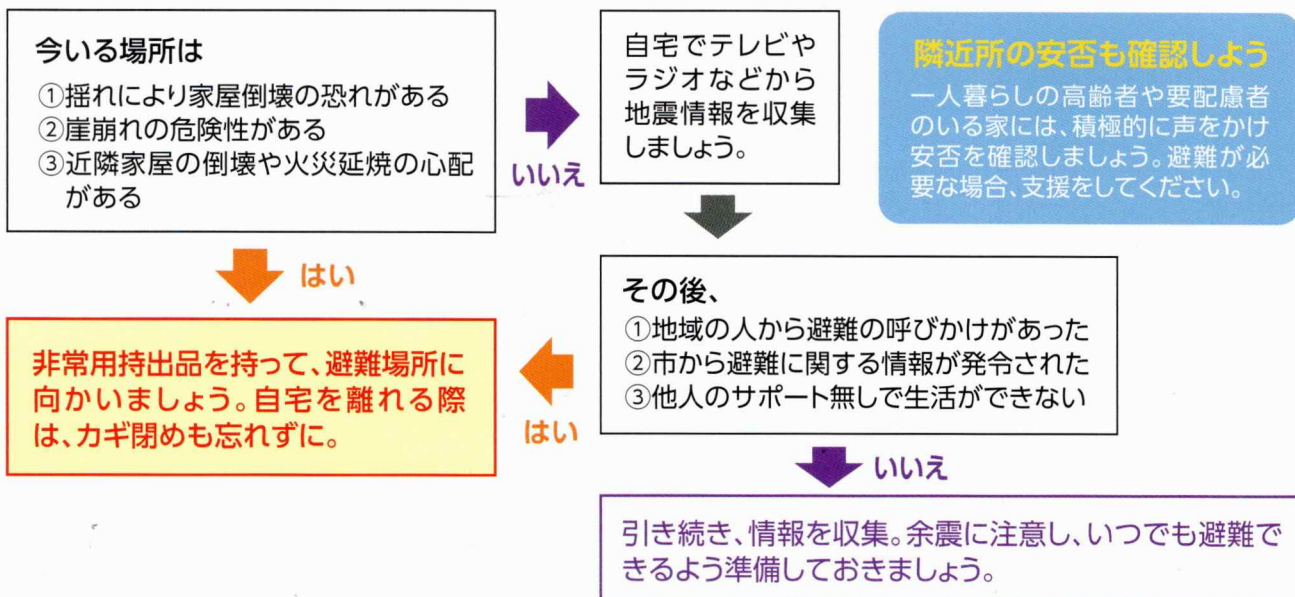
- ✓ 建物の倒壊や火災、土砂崩れなどの危険がないか自分の目と耳で確認。
- ✓ 火の始末をし、ガスの元栓を閉める
- ✓ 通電火災を防ぐため、電気のブレーカーを切る。
- ✓ 出口確保のため、ドアや窓を開ける。
- ✓ 家族の安全を確認する。(p12参照)
- ✓ テレビやラジオで正確な情報を集める。



重要 屋根やガラスなどが上から落ちてくる恐れがあるので、慌てて外に出ないでください。

避難が必要？

自分の状況や自分のいる場所の状況を確認し、避難について判断しましょう。



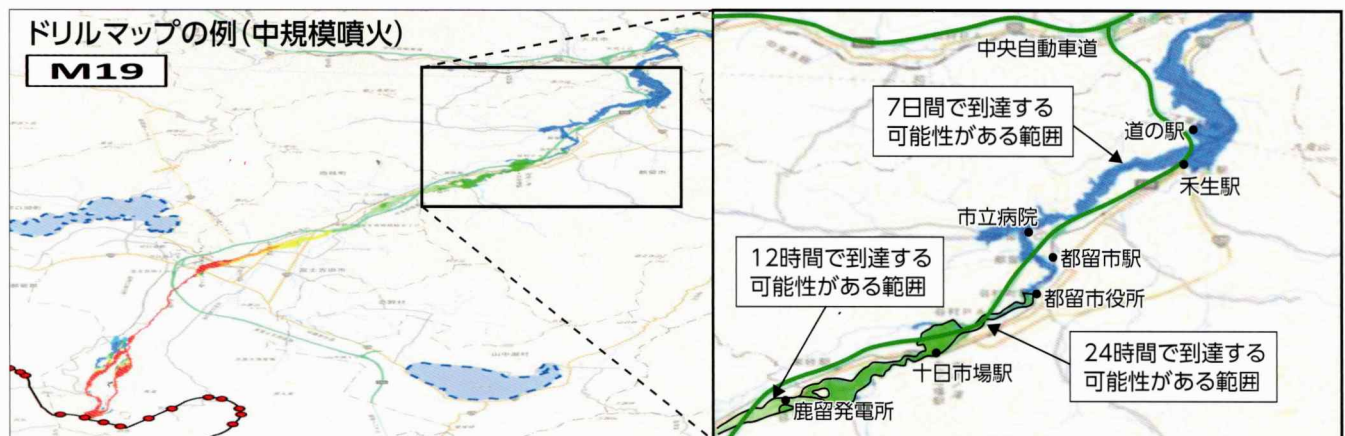
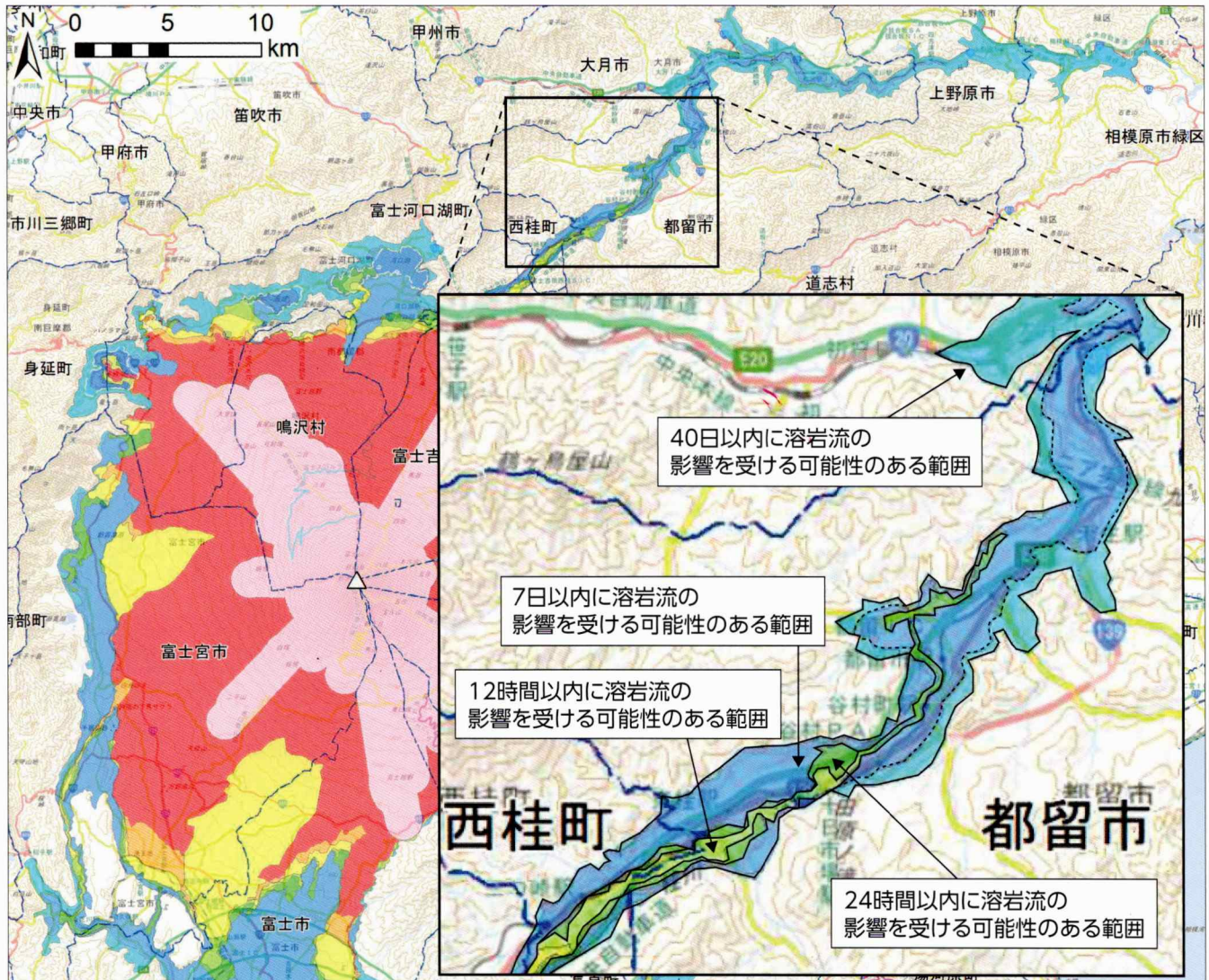
富士山噴火について知ろう

都留市ではどんな危険がある？

溶岩流

広い範囲で、溶岩流が到達する可能性があります。溶岩流の到達範囲や到達時間は、火口の位置や噴火の規模(流れ出す溶岩の量)によって変化します。(「ドリルマップの例」参照)

通常、溶岩流は人の歩く程度の速さで流下しますので、噴火後に発表される溶岩流の予測をもとに、市からの避難情報も確認しながら落ち着いて避難しましょう。



出典:富士山火山ハザードマップ(改定版)検討委員会報告書をもとに加工

融雪型火山泥流

富士山に積もった雪が溶岩の熱で急激に溶け、砂を取り込んで流れてきます。

融雪型火山泥流が発生したという情報が流れたら、桂川から離れ、高台や堅牢な建物の高層階に避難しましょう。



出典:富士山火山ハザードマップ(改定版)検討委員会報告書

火山灰や小さな噴石

噴火によって噴き上げられた小さな噴石や灰は、電気や水等のインフラや自動車の運転等に影響を及ぼす他、屋根に積もった灰の重みによる建物の崩壊や、山などに積もった灰による土石流等の恐れもあります。また、人の目や肺に入ること、各器官を傷つける恐れもあります。防塵マスクやゴーグルなどの準備も必要です。

都留市では、少なくとも10cm以上、多いところでは50cm以上の降灰が予想されます。

～灰が積もることによってどんなことが起こる可能性がある?～



鉄道

灰の量は微量でも、運行できなくなります。



電気

降雨時0.3cmの灰で配電設備に不具合発生恐れがあります。また、発電所の発電量低下により停電となる恐れもあります。



道路

視界が悪くなります。灰によりスリップしやすく、乾燥時10cm、降雨時3cmの降灰で通行不能になります。



通信

降雨時、基地局アンテナへの灰の付着により、通信障害の恐れがあります。停電による通信障害の可能性もあります。



物資運送

道路の交通支障により物資運送ができなくなります。生活に必要な食料なども入手しにくくなります。



水道

上水能力を超える水質の悪化や、長期停電により運転停止となる可能性もあります。



人の移動

鉄道の運行停止や道路の通行不能により、帰宅や出勤ができない人が発生します。



建物

降雨時30cm以上の灰の重みで、木造家屋等が倒壊する可能性があります。

いざという時のために

いざという時のために決めておきたい約束事

災害が発生し、家族が離れた場所で被災した場合、連絡を取り合うことがとても難しくなります。水害や地震など、それぞれの災害を想定し、家族で約束事を決めておきましょう。

1 災害時の連絡手段は複数決めておきましょう

家族が離れた場所で被災した時のために、災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板、SNSなど、連絡手段を複数決めておきましょう。いざという時の連絡先や連絡手段を事前に家族で共有しておくことも大切です。日頃から、家族間で予定などを共有しておくといいです。

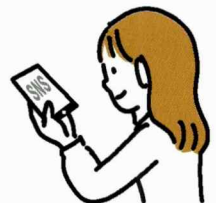
2 集合場所と時間はできる限り具体的に決めておきましょう

家族と離れた場所で被災した際は、会えるのが数日後になる可能性もあります。自宅以外で待ち合わせる場合、「〇〇小学校のブランコ付近で」「午後6時から6時10分までの間」など、具体的な場所や時間を決めておくと、会える確率が高まります。

～安否確認の方法～

SNSを活用

携帯電話各社の提供するショートメッセージであれば、音声通信制限時でも活用可能です。また、Twitter等のSNSを活用し、自身の安否を投稿することもできます。各手段が使用できない場合も想定し、複数の手段を用意しておきましょう。



災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板を活用

地震などによって電話がつながりにくい時に提供されるサービスです。使用方法を家族で確認し、活用できるようにしておきましょう。



※通信キャリア各社でも、災害時に安否の登録・確認ができる災害用伝言板を用意しています。

※各種災害用伝言板に登録してある安否情報等をパソコンや携帯電話から一括検索できる「J-anpi」という検索サイトもあります。詳しくは、「J-anpi」で検索してください。

何を用意する?非常用袋と備蓄品

災害発生後、支援物資が届き始めるまでの間は、各家庭の備蓄品で命をつながなければなりません。また、避難所にも備蓄品はありますが、すべての避難者が満足できる量の備えはありません。各家庭にて、必ず備えましょう。

《優先度1》最重要。命を維持するために必要なもの



水	飲料水や調理水。※一人1日2～3ℓ必要とされています。
食料品	レトルトご飯、カップ麺、缶詰(缶切りも忘れずに)、栄養補助食品など、調理の必要がないものを。栄養が偏りを軽減する野菜ジュースやストレス軽減のためのお菓子や好物も用意を。
常備薬	特に、持病がある方は必ず用意を。
絆創膏やマスク	けがの処置や感染症予防のために用意を。
簡易トイレや生理用品	断水時に備え用意を。女性は生理用品も。最低1日3回分必要。

《優先度2》避難所で1日生活するために必要なもの

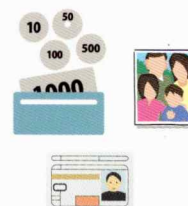


着替えや衛生用品(ゴミ袋や食品包装用ラップ等も)	着替えは、避難所での共同生活を想定して選択。衛生用品は、石鹼や洗顔シート、保湿クリームなど必要なものを。
暑さ対策や防寒対策	避難所の環境は、季節により変化します。時期に応じてうちわや防寒具、カイロなどの用意を。
携帯電話やラジオ、ポータブル充電器、乾電池	スマートフォンや携帯電話は、安否連絡や情報収集のために。ラジオからの情報収集も。
懐中電灯	避難所では消灯も一斉。夜のトイレの際にも必要。

《優先度3》自分には絶対に必要なもの

命や最低限の健康を守る以外に、自分には絶対必要なものはありませんか。特に、避難する場合は非常用持出袋の容量にも限りがあります。いざという時には落ち着いて考えている時間はありませんので、事前に考えておきましょう。

- (例) 現金(小銭の用意があれば、公衆電話も利用可能)
身分証明証や預金通帳など(生活再建の際にスムーズに手続き可能)
家族写真や思い出の品(無くしてしまえば今後手に入らない可能性も)



●自分や家族ことを考えた用意を

避難時に必要になる物は、それぞれ違います。それぞれ一人ひとりの状況を考え、必要なものを足しましょう。



(例) 子どもがいる

- ・粉ミルク、液体ミルク ・哺乳瓶
- ・離乳食 ・おむつ ・おしりふき
- ・お菓子 ・遊び道具 ・絵本 など



(例) 高齢者がいる

- ・予備の眼鏡 ・補聴器
- ・入れ歯 ・介護用おむつ
- ・介護食 など



(例) ペットがいる

- ・フードや水 ・ケージ
- ・首輪 ・おもちゃ
- ・排泄物処理用具 など

都留市 土砂災害 浸水害 ハザードマップ

お問い合わせ先：都留市役所 総務部総務課 行政防災室 危機管理担当 TEL0554-46-0111

令和5年3月作成

大雨時の情報と行動の目安

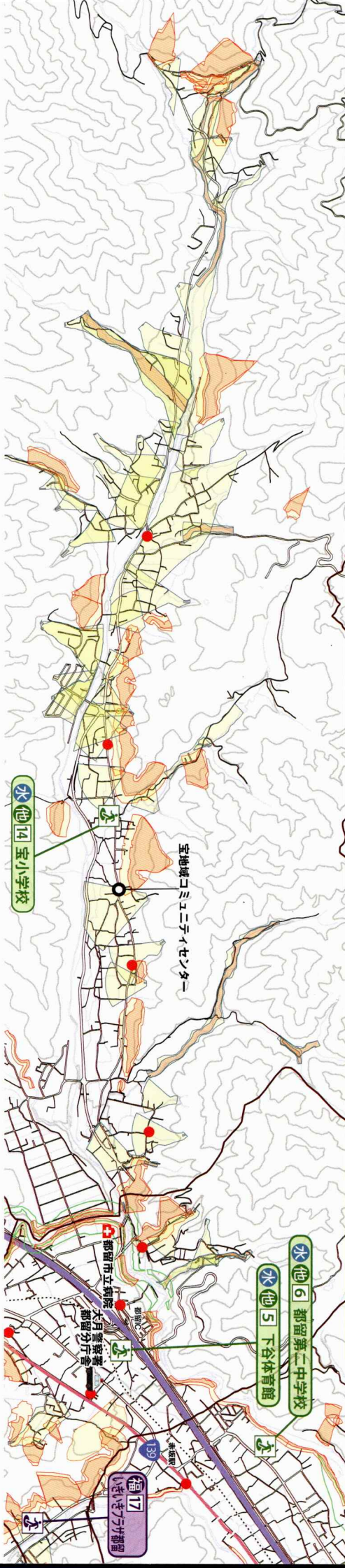
危険度	小 → 大			
警戒レベル	警戒レベル 1	警戒レベル 2	警戒レベル 3	警戒レベル 4
避難情報	災害への心構えを高める	自らの避難行動を確認する	危険な場所から高齢者等は避難	避難指示
市民の皆さんがとるべき行動	最新の気象情報を入手し、自分の避難先の確認、準備	避難に備え、ハザードマップなどを使い自分の避難行動を確認	高齢者や、避難に必要の方は避難開始	速やかに全員が避難開始
気象情報	早期注意情報(警戒級の可能性)	大雨注意報	大雨警報、洪水警報	土砂災害警戒情報
キヤウトル(危険度分布)	注意	警戒	危険	危険
河川水位情報	氾濫警戒情報	氾濫警戒情報	氾濫危険情報	氾濫発生情報
周辺の状況や雨の降り方	地面一面に水たまりができる。1時間雨量 20～30mm程度	道路が川のようになる。1時間雨量 30～50mm程度	水しぶきであたり一面が白っぽくなる。1時間雨量 50～80mm程度	大雨や暴風が特に2層階であったり、重大な被害が起る危険性が著しく高い。1時間雨量 100mm以上
				命が危険な状況
				緊急安全確保
				警戒レベル4までに必ず避難

市指定の避難所・緊急避難場所一覧

No.	名称	所在地	電話番号
1	他 都留市民総合体育館	田原三丁目 8-36	0554-45-1157
2	他 都留文科大学グラウンド	田原三丁目 8-1	
3	水 他 都留興譲館高等学校	上谷五丁目 7-1	0554-43-2101
4	水 他 谷村第一小学校	上谷一丁目 1-2	0554-43-3105
5	水 他 旧川棚営農指導センター	川棚 809	
6	水 他 下谷体育館	下谷四丁目 2-19	0554-43-0244
7	水 他 都留第二中学校	四日市場 750	0554-43-4395
8	水 他 都留第一中学校	大野 52-5	0554-43-4111
9	水 他 住吉球場	法能 333	
10	水 他 谷村第二小学校	法能 923	0554-43-2335
11	水 他 都留文科大学附属小学校	大野 396	0554-43-2336
12	水 他 東桂小学校	桂町 796-1	0554-43-2466
13	水 他 東桂中学校	桂町 840	0554-43-2421
14	水 他 末生第一小学校	古川 553	0554-43-2734
15	水 他 末生第二小学校	小形山 753	0554-43-8005
16	水 他 宝小学校	大櫛 1143	0554-43-2664
17	水 他 旧与郷高農指導センター	盛里 134-1	
18	水 他 旧旭小学校	朝日馬場 544	

No.	名称	所在地	電話番号
1	福いきいきプラザ都留	下谷 2516-1	0554-46-5111
2	福 都留市まちづくり交流センター	中央三丁目 8-1	0554-43-1321

※ 風水害時は開放しません。



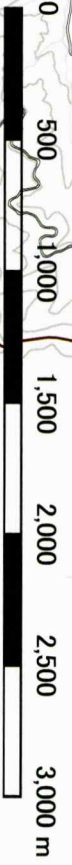
盛里地区

三吉地区

開地地区



道志村
1:30,000



凡例	
	避難所・避難場所
	土石災害・浸水害時の避難所・避難場所
	地震などの土石災害を除外した避難所・避難場所
	福祉避難所 <small>避難所や避難場所がない場合は、避難所として指定された避難所</small>
	消防団詰所
	大雨の際に注意する場所 <small>(土石災害警戒区域等から河川氾濫などのおそれがある場所)</small>
	国
	高速道路
	鉄道路
	地区界
	大字界
	大字界
	小字界
土石災害警戒区域	
	土石流
	急傾斜地
	警戒区域
	地すべり
	土石災害
	急傾斜地
	特別警戒区域
	家屋倒壊等氾濫想定区域
	氾濫
	河岸浸食

都留市 土砂災害 浸水害 ハザードマップ

お問い合わせ先：都留市役所 総務部総務課 行政防災室 危機管理担当 TEL0554-46-0111

令和5年3月作成

〈危険箇所の確認方法について〉

●「都留市災害ハザードマップ」での確認

総務課行政防災室危機管理担当では、「都留市土砂災害浸水害ハザードマップ」を配布しております。必要な方は、危機管理担当までお越しください。

●「インターネット上」での確認

都留市ホームページ(防災情報)に下記①～④をリンクしています。

- ①「都留市土砂災害浸水害ハザードマップ(PDF)」
- ②「e-つるマップ(都留市)」
- ③「土砂災害警戒区域等マップ(山梨県)」
- ④「山地災害危険地区情報マップ(山梨県)」



わたしの避難計画

◆どこに避難しますか？

〇〇さんの家
自宅、〇〇小学校
など

◆自宅周辺や避難先までの道で危険な場所はどこですか？

ハザードマップを
見たり、昔から住
んでいる方に話を
聞いてみましょう。

◆家族や仲間との連絡方法

【避難前】 誰に： 連絡手段： いつ：
(避難連絡)

【避難後】 誰に： 連絡手段： いつ：
(安否連絡) 誰に： 連絡手段： いつ：

◆避難に必要なもの

【自宅避難の場合】家(避難する部屋)に備えるもの

【家を出て避難する場合】非常用持出袋に用意するもの

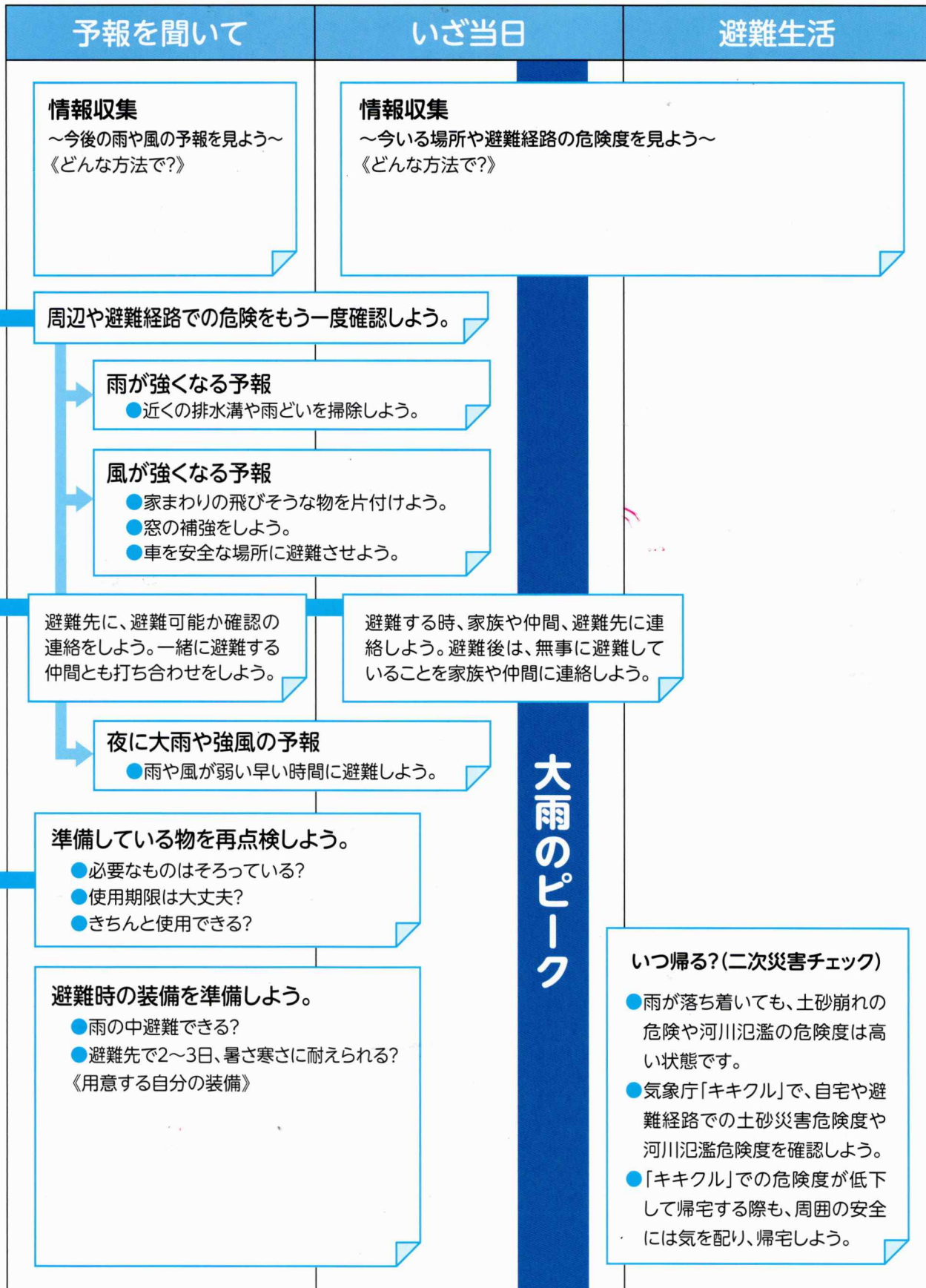
《優先度①》命を維持するために必要なもの(水・食べ物・常備薬など)

《優先度②》避難先で生活するために必要なもの(着替え・衛生用品・明かりなど)

《優先度③》優先度は低いが自分に絶対必要なもの(安眠グッズ・思い出の品など)

豪雨、台風(豪雨+強風)編

数日前 → → → 豪雨 → → → 豪雨以降



大雨のピーク

いつ帰る?(二次災害チェック)

- 雨が落ちていても、土砂崩れの危険や河川氾濫の危険度は高い状態です。
- 気象庁「キキル」で、自宅や避難経路での土砂災害危険度や河川氾濫危険度を確認しよう。
- 「キキル」での危険度が低下して帰宅する際も、周囲の安全には気を配り、帰宅しよう。



都留市 わが家の防災マニュアル

〒402-8501 都留市上谷1丁目-1

問い合わせ：総務部 総務課 危機管理担当

☎0554-46-0111